

南姫児童センター 事業評価表  
 ※事業区分「1」…仕様書事業、「2」…自主事業(企画・事業)

項目	事業区分	実施日・事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 R2	令和2年度の参加人数					実施回数 R3	令和3年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価等
					令和2年度	令和3年度		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計	
乳幼児と保護者を対象とした事業	1	① 乳幼児クラブ 0歳 ・ベビークラブ	毎月 1, 2回	10	13	13	11	97	0	0	87	184	11	54	0	0	47	101	・自粛生活が続き年齢が小さいほど外出に慎重になってしまいが、毎回出席率も良くクラブに来ることを楽しみにしている方が多かった。 ・昨年度のアンケートにクラブに参加しているお母さん同士の交流できる座談会をしてほしいと要望があったため短時間だが設けた。同年齢の子を持つお母さん同士の悩みを共有できる場となり、喜ばれた。
		② 乳幼児クラブ 1歳 ・びよびよクラブ	毎月 1, 2回	10			11	85	0	0	85	170	13	66	0	0	68	134	・親子で楽しめる活動を考えて実施したことで工作时に親子でスキミングを取りながら作品を作り上げた。ばおばおバルーンのような道具を使用する際にも子どもとお母さん両方が笑った顔をお互い見ること子どもたちに安心してもらい落ち着いた雰囲気の中で活動してもらうことができた。
		③ 乳幼児クラブ 2歳 ・ちびっこクラブ ・キンダークラブ	毎月 1, 2回	10			22	127	0	0	101	228	25	210	6	0	196	412	・コロナ禍の中であったが今年度は25回クラブを実施することができたため昨年度より多くの親子の参加があった。 ・無料体験会を設けたことでちびっこクラブとキンダークラブの違いを実際に体験してもらえた。子どもに合ったクラブに入ることができ、継続して参加できたことはよかった。 ・キンダークラブでは運動やサーキット遊びなどを通して子どもたちが運動できる機会を多く設けたことで参加してくれたお母さんたちにも好評だった。 ・ちびっこクラブでは季節行事を子どもたちに知ってもらうことができるような製作活動や体を動かすことを行った。
	小計			44	309	0	0	273	582	49	330	6	0	311	647				
2	④ 乳幼児 自主事業 ・英語であそぼう (半期5回) ・音楽であそぼう (半期5回) ・幼児トランポリン (毎月) ・幼児おはなしなあに (毎月) ・発育測定 (毎月) ・おえかきあそび (毎月) ・こどもランド (毎月)	随時		13	14	51	229	8	0	229	466	57	327	0	0	295	622	・コロナのため定員を設け、活動時に間隔を空けたり、クラブ活動日を分けたりするなどの工夫をした。 ・例年行っているこどもランド特にハロウィン、クリスマス会などが参加者に喜ばれており、ハロウィンの時には大きなかぼちゃの形をした台紙に子どもたちの手形を3つ重ねて小さいかぼちゃを作った。それをバックに写真撮影をしてお母さんたちにとっても好評であった。 ・昨年度から新規で始めた発育測定は毎月必ず測定に来てくれる利用者があり、子どもの成長を記録することができるため好評となっている。 ・コロナ禍の中、小さい子を連れての外出は難しく、人数制限・消毒など感染予防を徹底することで児童センターが安全で安心して遊べる場となり、乳幼児親子の利用者が多かった。	
	小計			51	229	8	0	229	466	57	327	0	0	295	622				

項目	事業区分	実施日・事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 R2	令和2年度の参加人数					実施回数 R3	令和3年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					令和2年度	令和3年度		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計	
児童を対象とした事業	1	① 一輪車クラブ	月2回程度	6	13	14	7	1	49	0	2	52	14	0	107	0	0	107	<p>・一輪車クラブでは初めてクラブに参加する児童に対して高学年が優しく指導することで一輪車に乗ることができなかった子が乗れるようになった。クラブ活動を通して他者への思いやりの心を育てることができた。</p> <p>・子どもスタッフクラブではデイサービス交流や近隣老人福祉施設に敬老の日のプレゼントを届けに行くなどのボランティア活動を行った。新型コロナウイルスの影響で高齢者と一緒に歌ったり、子どもたちが発表することはできなかった。七夕の製作物を間接的だが一緒に作るなどして交流方法を工夫して実施することができた。</p> <p>・チャレンジクラブは運動をメインに実施したがポッチャを取り入れる等の子ども達があまりやらないような種目にチャレンジするような要素も加えたことで楽しみながら活動できた。</p> <p>・ハンドメイドクラブでは、アイロンビーズなどの工作を実施した。毎回作った作品を子どもたち同士見せ合い他学年との交流や自分で作ることでオリジナルの作品ができて満足している様子が見れた。</p>
		子どもスタッフクラブ					10	0	51	0	0	51	13	0	66	0	0	66	
		チャレンジクラブ	月1回程度				7	7	55	0	7	69	6	7	48	0	5	60	
		ハンドメイドクラブ					7	7	52	0	7	66	8	7	64	0	14	85	
		② ボランティア活動	随時				<ul style="list-style-type: none"> <li>・チョコボラ(毎月)</li> <li>・被災地支援(夏季)</li> </ul>	20	4	122	7	3	136	13	9	85	1	5	
	小計				51	19		329	7	19	374	54	23	370	1	24	418		
児童を対象とした事業	2	③ 児童 自主事業	随時	13	13	60	43	460	8	38	549	52	34	361	17	24	436	<p>・新型コロナウイルスの影響で土岐川観察館のさがさ探検が中止となったが、夏休みに予定通り科学工作の実施など昨年度と比較すると実施できた事業が多かった。</p> <p>・季節行事を通じて四季折々の日本の慣習を知ってもらう機会となった。特にクリスマス会は小学生の参加が多かった。会の初めにしっぽとりや紅白ボールを使った玉入れは盛り上がり、レクリエーションの後のクリスマスノードーム作りでは瓶の中に雪だるまとクリスマスツリーを入れたことでクリスマスの雰囲気より楽しむことができた。</p>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生トランポリン(毎月)</li> <li>・小学生おはなしなあに(毎月)</li> <li>・チャレンジ番付(毎月)</li> <li>・みんなであそぼう</li> <li>・つくっちゃおう</li> <li>・季節行事(クリスマス会・お正月あそび等)</li> <li>・卓球大会</li> <li>・スペシャル工作(長期休暇)</li> <li>・新1年生集まれ</li> </ul>																	60
		小計				60	43	460	8	38	549	52	34	361	17	24	436		



項目	事業区分	実施日・事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数R2	令和2年度の参加人数					実施回数R3	令和3年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価等
					令和2年度	令和3年度		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計	
子育てネットワークづくりの推進	1	① 相談事業 ・子育て相談日(毎月)	月1回	12	13	14	1	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	・新型コロナウイルスの影響で子育て相談日を予約制としたが相談日に予約が入ることはなかった。来館者から子どもの発達や入園についてなど様々な相談があった。
		② 講習・講演・多連携 ・科学工作 ・乳幼児合同人形劇(中)	随時	2			2	7	5	0	7	19	1	2	6	0	2	10	・核融合科学研究所から講師を招き科学工作を実施した。毎年夏休みに行っており、廃材を使う工作のため子ども達にも今話題のSDGsを身近に感じてもらうことができる貴重な機会となっている。
		② 母親クラブ ・バランスボール(2回) ・ママピクス(3回)	随時				0	0	0	0	0	0	5	20	0	0	19	39	・今年度は、母親クラブの立ち上げ支援と子育てするお母さんたちの心と身体をリフレッシュしてもらうことを目的に講座を実施した。子育てをするお母さんたちは運動できる機会があまりないため「体を動かしてスッキリした」などの声を聞くことができた。
	小計				3	7	5	0	7	19	11	22	6	0	21	49			
2	③ 子育て自主事業 親育ち4・3・6・3協賛事業 集まれ!ちびっこ 「英語であそぼう」 「イモほり体験」	随時		-	14	0	0	0	0	0	0	2	21	0	0	42	63	・児童館と公民館共催事業「集まれ!ちびっこ」5月・6月実施。児童センターはおもちゃを持っていき託児を兼ねて参加。コロナ禍での協賛事業であったため参加者にはマスク着用の徹底と入館時に手指消毒をするよう声掛けを行うなどの感染予防対策をして実施した。	
	小計				0	0	0	0	0	0	2	21	0	0	42	63			

(留意事項) ※「区分欄」は、指定管理者の協定書・仕様書で定められた事業は「1」、協定書等がない自主事業は「2」を記入。

「年度評価欄」は、次の

「年度評価欄」は、次の内容で記入。 1:取消等を検討、2:不備が目立つ、3:若干不備あり、4:良好、5:期待以上